



九州環境エネルギー産業推進機構 (K-RIP)

K-RIP 情報

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-13-24

Vol.1 #2017

(一財) 九州産業技術センター内

www.k-rip.gr.jp

TEL: 092-474-0042 FAX: 092-472-6609



「平成 29 年度 K-RIP 総会/記念講演会」開催

～気候変動にそなえる「産業社会イノベーション」～講師：藤田 壮 氏

《Contents》	《Page》
I. 平成 29 年度 K-RIP 総会・記念講演	2～4
II. 平成 29 年度 K-RIP プロジェクトについて	5
III. 異業種ネットワーク構築・ビジネスマッチング交流会事業	6～7
IV. ASEAN 環境エネルギー産業交流事業	8～9
V. 地域中核企業創出支援事業－ハンズオン	10～12
VI. 環境エネルギービジネス創出と人脈形成の場「エコ塾」	13～16
VII. 個別プロジェクト支援事業	17～18
お知らせ 平成 29 年度（下期）K-RIP 事業計画	19～20

I. 平成 29 年度 K-RIP 総会・記念講演

平成 29 年 6 月 30 日、ハイアットリージェンシー福岡において企業・大学・自治体等 95 会員の出席と、116 会員の委任状をもって、九州環境エネルギー産業推進機構（K-RIP）の平成 29 年度総会を開催いたしました。

K-RIP 吉田会長の開会挨拶、九州経済産業局の大串次長の来賓挨拶の後、高塚副会長を議長に選出し、平成 28 年度の事業報告・収支決算報告および、平成 29 年度の事業計画・収支予算計画など 5 議案を審議し、すべて異議なく承認されました。

また、記念講演では東京工業大学特任教授の藤田壮氏をお招きして、地球規模で大きな問題となっています『気候変動にそなえる』という演題でご講演いただき、大変に重要かつ興味深いお話を伺うことができました。

- (総会議案)
- | | |
|---------|---------------------|
| 第 1 号議案 | 平成 28 年度事業報告について |
| 第 2 号議案 | 平成 28 年度収支決算報告について |
| 第 3 号議案 | 平成 29 年度事業計画（案）について |
| 第 4 号議案 | 平成 29 年度収支予算（案）について |
| 第 5 号議案 | 役員の選任（案）について |



平成 29 年度 K-RIP 総会風景



K-RIP 副会長 高塚 汎 氏



九州経済産業局 局長 高橋 直人 氏



K-RIP 懇親会風景

平成 29 年度 K-RIP 総会

■会長挨拶 吉田 哲雄 氏（㈱ワイビーエム取締役会長）

本日は、お忙しい中平成 29 年度 K-RIP 総会にご出席いただき、誠に有難うございます。私は、昨年度のK-RIPとSONEQの各総会により新しく統合された「九州環境エネルギー産業推進機構」の会長を務めています吉田です。

皆様、あらためまして、どうぞ宜しくお願いします。



K-RIP 会長 吉田 哲雄 氏

K-RIP は、平成 11 年に設立以来、環境・リサイクル産業の育成・振興を図り、九州地域のみならず海外まで数多くの支援事業を展開してまいりました。

今日では、環境・リサイクル分野だけでなく、エネルギー分野との融合を図ることで、変わりゆく時代のニーズを捉えながら、人的ネットワークの更なる拡大・深化、グリーン・イノベーションの創出、低炭素社会への対応に向けた環境・エネルギーをパッケージ化したビジネス創出を図り、ますます発展していくことを目指します。

そのために、K-RIP は常に変化する社会的な要請や、会員企業の皆様のニーズを的確に捉え、そのための柔軟なネットワーク組織の創造、新たなソリューションを提供する仕組み作り、市場の創造に取り組むことで、九州地域を環境・エネルギー産業の先導的地域とするお手伝いをさせていただければと思います。

K-RIP 事業について、一つ紹介しますと、「エコ塾」は、異業種との連携・マッチングを目的に、ほぼ毎月開催しておりますが、本年度は7月の鹿児島を皮切りに、九州各県で拡大エコ塾を展開いたします。K-RIP 会員の皆様の積極的なご参加・ご協力を期待し、また、新しい知識の習得や、人脈形成にお役に立てればと、願っております。

また、会員の皆様は、事業の展開促進、ニュービジネスの確立、技術的・専門的なアドバイスなど、問題解決に必要な事は、遠慮なく K-RIP 事務局・マネージャーにご相談していただき、各種K-RIPの支援メニューを活用していただきたいと思います。

本総会後の記念講演では「気候変動にそなえる『産業社会イノベーション』」をテーマに、東京工業大学先進エネルギー国際研究センター特任教授で、国立環境研究所・社会環境システム研究センター長の、藤田 壮(つよし)様にご講演頂きます。気候変動に対応する産業と社会を構築する仕組みについてのお話は、会員の皆様にとっても、大変興味深いものとなると思います。

最後になりましたが、K-RIP の活動に対する皆様方の日頃からのご理解・ご協力に感謝申し上げますとともに、今後とも K-RIP の発展へのご支援をお願い申し上げて、私の挨拶とさせていただきます。

平成29年度 K-RIP総会 記念講演の概要

講演テーマ：『気候変動にそなえる「産業社会イノベーション」』

講師：藤田 壮 氏 博士(工学)

東京工業大学 先進エネルギー国際研究センター 特任教授

国立環境研究所 社会環境システム研究センター センター長

◇略歴等

1984 年 東京大学 工学部卒
 1991 年 ペンシルバニア大学院 都市工学修士
 1997 年 東京大学 博士(工学)、大成建設㈱、
 大阪大学、東洋大学を経て、東京工業大学 特任教授、
 国立環境研究所の社会環境システム研究センター長を
 務め、現在に至る。



一年を通しての気温上昇や生態系の変化、熱中症など健康影響の顕在化など、気候変動は避ける事のできる未来ではなく、「対応しなくてはならない」現在になりつつある。パリ協定の締結後、ヨーロッパのみならず中国やアジア諸国でも、その取組みが掛け声から行動に変わりつつある。その背景には先行して気候変動に対応する産業と社会を構築することで、新たな国際的な先導モデルを、環境技術だけではなく、産業システムや社会システムの分野で構築することにより、それぞれの社会の活力につなげるという狙い。

欧州で顕在化しつつある「産業共生」などの産業地区が社会を巻き込みつつ新しい事業の仕組みを官民連携で作る産業社会イノベーションを紹介するとともに、日本の都市地域で先導的に実現するためのアプローチを提案。

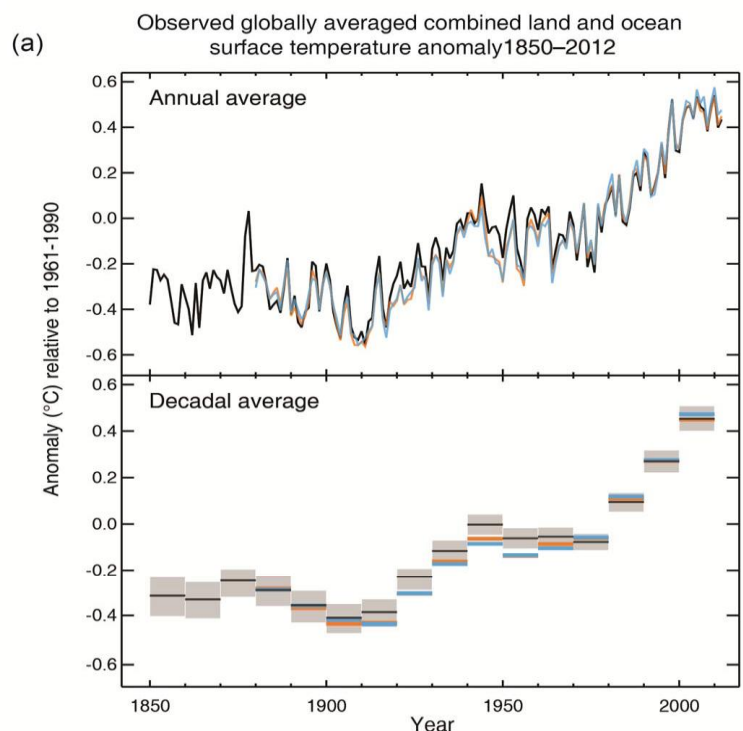
<社会転換の引き金:気候変動>

【気候変動の事実】

- ・温室効果ガス(CO₂など)がこれまで80万年の中で(前例のない)最高水準
- ・過去100年間で地球の平均温度は0.78度上昇した。
- ・二酸化炭素の温室効果は空気の5倍

【確からしい推定】

- ・2016-2035年の気温は0.3-0.7℃上昇
- ・2081-2100年の気温は0.3-4.8℃上昇(基準年 1986-2005年)
- ・2℃度以上の上昇は、不可逆的な変化のリスクを伴う。
- ・2℃に維持するためには1990年水準の50%の排出に2050年までに削減する必要



(b) Observed change in average surface temperature 1901–2012

Ⅱ．平成 29 年度 K-RIP プロジェクト

K-RIP プロジェクトは、K-RIP 会員の環境・リサイクル関連分野における産業の振興、新事業の創出を目的とし、①可能性調査事業、②製品開発事業、③既存製品改良事業、④その他事業における調査および研究に係る助成を行うものです。

平成 29 年度の「K-RIP プロジェクト」の選考会（プレゼンテーション）と、プロジェクト協議会を開催し、その結果、5 社が採択されました。採択企業は、平成 29 年 7 月 1 日から平成 30 年 2 月末まで申請内容に基づきプロジェクトを実施しています。

- (1) 開催日時：平成 29 年 6 月 16 日（金）13:00～18:00
- (2) 開催場所：（一財）九州産業技術センター 3 階会議室
- (3) 採択企業：応募 10 社より審査の上、本年度 5 社を採択。

【採択企業及びプロジェクト名】

	企業名	プロジェクト名
1	(株) システム・ジェイデー	台湾における「SOKODES GF」を活用した PV 保守ビジネス事業化可能性調査
2	中島物産 (株)	ベトナムにおけるエビ養殖生産性向上に資するファインバブル装置開発
3	(株) ケミカルクリエイト	可視光応答型光触媒を活用した多機能な室内環境改善シートフロアーの開発
4	ワイスグローバルビジョン (株)	インドネシアにおける海水淡水化装置を活用した事業の可能性調査
5	(有) 福岡窯材	再生石膏と陶磁器破砕片による低環境負荷型藻礁の製品開発事業



各社のプレゼンテーション



K-RIP プロジェクト審査会

Ⅲ. 異業種ネットワーク構築・ビジネス マッチング交流会事業

1. 技術シーズ発信・展示会出展支援のお知らせ

環境エネルギー関連の地域中核企業創出を支援するため、自治体、支援機関等と連携し、九州内外の大型環境見本市等の機会を活用した技術シーズの発信・個別商談会を開催し、ビジネスパートナーや新規ユーザーの発掘を目的にマッチング事業を実施しております。

平成 29 年度は、エコテクノ 2017（北九州市）、びわ湖環境ビジネスメッセ 2017（滋賀県長浜市）、次世代農業 EXPO（農業ワールド 2017）（幕張メッセ）に出展し、出展支援・プレゼン・商談会を実施します。本年度の出展会員企業は下記の通りです。

(1) 次世代農業 EXPO（農業ワールド 2017）

期間：2017 年 10 月 11 日（水）～10 月 13 日（金）

場所：東京・幕張メッセ

① 出展支援

企業名	出展内容	備考
(株)宮坊	畜産用遮熱塗料	宮崎県
(株)西部技研	農業用 CO2 分離回収装置 CO2 分離回収技術	福岡県
(株)アステック入江	塩化鉄余剰液の農業利用	福岡県

(2) エコテクノ 2017 （北九州）

期間：2017 年 10 月 11 日（水）～13 日（金）

場所：西日本総合展示場 新館（北九州市小倉北区浅野 3 丁目 8－1）

① 出展支援

企業名	出展内容	備考
(株) 寺田鉄工所	太陽熱集熱器、太陽熱温水器	広島県
篠田株式会社	木質バイオマスガス化発電システム等	岐阜県
(株) 熊本清掃社	食品リサイクル事業	熊本県

② 環境ビジネスアライアンス・マッチングセミナー in 九州（10 月 12 日 PM）於：西日本総合展示場

九州域内企業と環境分野でアライアンスマッチングを希望する全国各地の企業が、自社事業（商品・技術・システム等）のプレゼンテーションを行い、隣接する会場にて小規模展示と商談会を実施します。

	時間	企業名	製品・サービス等	製品の特徴	希望パートナー
1	13:10 ～ 13:25	千原商工(株) (兵庫)	フォークリフトのバッテリー再生・修理・販売、自然エネルギーの独立型蓄電システムの販売	高品質バッテリーを低価格で提供	代理店:蓄電池の販売 + 施工、再生・修理等
2	13:25 ～ 13:40	(株)染めQテクノロジー (茨城)	顔料をナノ化する独自の技術で、「素材を選ばない」「高い密着力・耐久力」を有する塗料の製造・施工	圧倒的な曲げ強度、引張強度	代理店:販売 技術提携、製品開発
3	13:40 ～ 13:55	ワイスグローバルビジョン(株) (東京)	小型海水淡水化装置及び小型海水淡水化プラントの企画開発、製造販売	簡単操作で軽量コンパクト。水道法の基準値クリア	代理店:販売+メンテナンス 海外進出パートナー
4	13:55 ～ 14:10	(一社)沖縄県環境・エネルギー研究開発機構 (沖縄)	再生可能エネルギー・熱源・空調・電気・照明・ポンプ等の更新、運転管理・メンテ等。一般住宅・工場・ビル、自治体等への販売代行・エネルギー使用合理化のオーダーメイドサービス。	沖縄での省エネ・再エネ等の共同開発と東南アジアへの展開等提案受付型業務提携	共同研究・開発型:東南アジア市場向け省エネ・新エネ技術・設備等の沖縄での研究開発・実証。沖縄での販売代行。
5	14:10 ～ 14:25	(株)ジオパワーシステム (山口)	地中熱など自然エネルギーを利用した省エネ技術「GEOパワーシステム®」の研究開発・製造販売	施工が簡単で導入コストが比較的安価。国内導入実績N01	代理店:販売+施工、メンテナンス
6	14:25 ～ 14:40	周南水处理(株) (山口)	流体輸送ポンプの電力コストを削減する、配管抵抗低減剤「LSP-01」の研究開発・製造販売	安価な投資で省エネが可能。多数の導入実績有。	代理店:販売+施工、メンテナンス
14:45～17:00 プレゼン各社との商談会(事前予約者優先)					

(3) びわ湖環境ビジネスマッセ 2017

期間: 2017年10月18日(水)～10月20日(金)

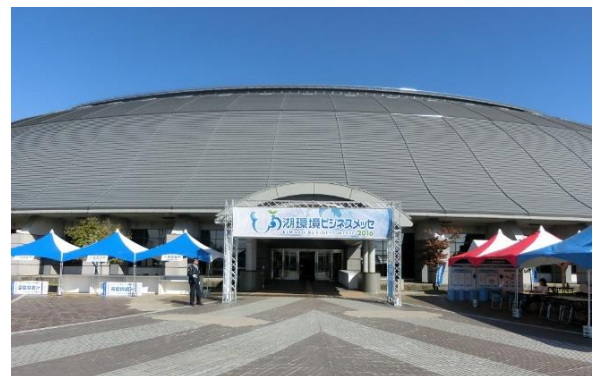
場所: 滋賀県立長浜ドーム(滋賀県長浜市田村町1320)

① 出展支援

企業名	出展内容	備考
福岡建設合材(株)	地産地消灰処理システム	熊本県
富士エネルギー(株)	真空ガラス管形太陽集熱器	鹿児島県
バイオマスリサーチ(株)	バイオマス活用コンサルティング	福岡県



エコテクノ展示会 (2016)



びわ湖環境メッセ展示会 (2016)

IV. ASEAN 環境エネルギー産業交流事業

(1) アジア環境エネルギービジネス・セミナー(台湾編) 開催報告

九州環境エネルギー産業推進機構(K-RIP)では、会員企業の海外展開を加速させるために、海外に拠点を有する産業支援機関やビジネスコーディネーター等を交えて、ASEAN、東アジア地域の環境エネルギービジネス分野の政策や市場動向等、実務に直結した情報及び海外展開ノウハウの情報交換を通じて、関連企業に対する支援を行うとともに、新たな海外ビジネス展開案件の発掘や海外プロジェクト形成の足がかりを作り、企業間交流及びネットワークの拡大を図る目的で、『アジア環境エネルギービジネスセミナー(台湾)と(ベトナム)』を開催しました。

【開催日時】平成 29 年 9 月 8 日(金) セミナー:15 時 30 分～17 時 45 分

懇親会:18 時 00 分～19 時 00 分

【開催場所】講演会:カンファレンス ASC 3A (福岡市博多区博多駅東 1 丁目)

【参加者数】 セミナー: 45 名、交流会: 27 名

【主 催】(一財)九州産業技術センター、九州環境エネルギー産業推進機構(K-RIP)

【セミナー次第】

15:30～15:35 開会挨拶 (一財)九州産業技術センター常務理事 成清 四男美 氏

◆(第一部)台湾における環境エネルギーの市場動向及び台湾支援機関紹介◆

15:35～16:10 「台湾における環境エネルギー政策および日本企業の展開可能性について」

日本台湾交流協会台北事務所 水ノ江 秀子 氏(福岡県庁より出向中)

16:10～16:25 「台湾の現状と TAITRA の活用について」

台湾貿易センター(TAITRA) 福岡事務所 部長 堤 孝信 氏

◆(第二部)海外展開 取組事例紹介◆

16:35～16:55 台湾取組み事例－1(水処理分野) 協和機電工業(株) 小林マネージャー

17:20～17:40 台湾取組み事例－2(省エネ空調) (株)エコファクトリー 村上社長

◆(第三部)海外展開支援メニュー◆

17:15～17:30 海外とのビジネスに支援制度を活用しませんか? 九州経済産業局 橋爪 氏

17:30～17:40 K-RIP の取組及び海外展開支援について K-RIP 事務局 嶋田 氏



台湾・セミナー風景



交流会風景

(2) アジア環境エネルギービジネスセミナー(ベトナム) 開催報告

【開催日時】 平成 29 年 9 月 28 日(木) セミナー:15:00～18:00

懇親会:18:00～19:30

【開催場所】 ホテル・レオパレス博多(福岡市博多区博多駅東 2 丁目 5-33)

【参加者数】 セミナー: 55 名 交流会: 28 名

【主 催】 (一財)九州産業技術センター、九州環境エネルギー産業推進機構(K-RIP)

【セミナー次第】

◆ 15:00～15:05 開会挨拶 (一財)九州産業技術センター

来賓挨拶 九州経済産業局 資源エネルギー環境部 次長 大串 渉 氏

◆ (第一部)ベトナムにおける環境エネルギー政策及び市場動向◆

15:05～16:00 「ベトナムにおける環境エネルギー政策及び日本企業の展開可能性について」

(株)ジームス・アソシエイツ 代表取締役社長 有岡 義洋 氏

◆(第二部)海外展開(ベトナム)取組事例紹介◆

16:00～16:25 ベトナム進出事例①(一次産業分野／農業資材) 丸和バイオケミカル(株)

16:25～16:50 ベトナム進出事例②(ウルトラファインバブル) 中島物産(株)

◆(第三部)海外展開支援メニュー紹介◆

17:00～17:20 「ジェトロの海外展開支援施策について」 JETRO 福岡

17:20～17:40 「JICA の海外展開支援施策について」 JICA 九州

17:40～17:50 「K-RIP の取組及び海外展開支援について」 K-RIP 事務局



ベトナム・セミナー風景



交流会風景

(3) 第1回 ASEAN環境プロジェクト形成研究会

【開催日時】 平成 29年 6月 5日 (月) 15:00～17:00

【開催場所】 (一財)九州産業技術センター 1F 会議室

【研究会】 議題: マレーシア紙おむつリサイクルプロジェクト

(1) 冒頭説明 (九州経済産業局 資源エネルギー環境課、K-RIP)

(2) マレーシア事業における現状説明 (トータルケア・システム(株))

(3) マレーシア側からの NDA、MOU 締結の提案について

(4) 意見交換: ・NDA、MOU 案の締結時期について

・今後のマレーシア事業の戦略について

V. 地域中核企業創出支援事業—ハンズオン

K-RIP は昨年度までの ASEAN 地域における現地調査に加え、台湾においても九州企業の海外へのビジネス展開や環境プロジェクト参画の機会創出を目的にニーズ調査等を実施しました。本年度はその調査をもとに、地域中核企業の具体的展開を進めるハンズオン事業を実施しました。

1. 件名: 地域中核企業ハンズオン支援 出張報告(マレーシア)

2. 訪問先: マレーシア(マラッカ州)

3. 日程: 平成 29 年 7 月 9 日(日)～15 日(土)

日程	用務(訪問先)	都市名
7/9(日)	※移動 福岡→KL→マラッカ	マラッカ
7/10(月)	◇現場確認 ◇路盤確認・機材確認・材料確認・ 配置確認 ◇作業手順最終確認 ◇保水層工事	マラッカ
7/11(火)	◇保水層工事／◇予備(乾燥)	マラッカ
7/12(水)	◇予備(乾燥) ◇透水層工事	マラッカ
7/13(木)	◇透水層工事／◇予備(乾燥)	マラッカ
7/14(金)	◇くりんかロード見学会 クアラルンプールへ移動 ◇協和機電工業 マレーシア現地法人訪問	マラッカ クアラルン プール
7/15(土)	※移動 KL→福岡(夜行便 日曜着)	

4. 参加者: 8 名

○地域中核企業

- ・(株)くりんか 榎木副社長
- ・(株)かがみ 荒武社長、大平専務、島田氏 (くりんかロード工事代理店)

○地域中核企業

- ・協和機電工業(株)マレーシア 坂井社長

○九州環境エネルギー産業推進機構 嶋田統括マネージャー

現地アレンジ・調整 L&L コンサルタント リム氏、 現地通訳 ニザム氏

5. 今後のマラッカ・ハンズオンの取り組みについて

①(株)くりんか

- ・今回のパイロット施工をいかして、現地での PR 推進。
- ・マレーシア側で、今回の試験施工をベースに工事単価等試算。
- ・工事を黒字化するために、来日して施工管理等の研修を行う
- ・くりんかロードの PR と事業採算化を並行させながら、ライセンス契約締結へ

②協和機電工業(株)マレーシア

- ・現地事務所、スタッフの確保済
- ・案件獲得に向けた支援(マラッカ州との「ケサンリバープロジェクト」協議再開)



(株)くりんか・マラッカ州プロジェクト

1. 件名:台湾におけるプロジェクト形成協議(ハンズオン)

2. 訪問先:台湾 (台北市、高雄市)

3. 日程:平成29年7月31日(月)～8月4日(金)

4. 参加者: 8名

○ 地域中核企業

- ・協和機電工業(株) 小林マネージャー、川口 G 長代行、庄島氏
- ・(株)くりんか 榎木副社長

○ K-RIP 嶋田統括マネージャー、現地通訳 廖雲芬氏

○ 台日産業連携推進オフィス(TJPO) 陳品成氏、陳昱安氏

日程	用務(訪問先)	都市名
7/31(月)	※移動 福岡→桃園空港→台北 ◇TJPO 訪問	台北市
8/2(火)	◇AcBel 訪問(@淡水) ◇交流協会台北事務所 經濟部 訪問	新北市 台北市
8/2(水)	◇台湾電力 訪問 ※移動 台北→台中 ◇金瑋水泥 訪問 ※移動 台中→高雄	台北市 台中市 高雄市
8/3(木)	◇寶固實業 ◇CSC (China Steel) ※移動 高雄→台北	高雄市 台北市
8/4(金)	※移動 台北→桃園空港→福岡	

◇台湾との環境産業交流の実施

①各中核企業案件の深化・プロジェクト化

- ・協和機電×AcBel →PJ 進捗支援、取組 PR
- ・くりんか×CSC →PJ 形成支援、文書締結支援

②環境エネルギー分野の企業等による台湾ミッション団の派遣

～交流協会、TJPO 等の協力のもと、台湾との交流を実施

- ・10 月末～のミッション団派遣
- ・高雄での商談会開催(予定)
- ・高雄市政府への再アプローチ
- ・台湾行政院、聯誼會等を活用した行政・業界団体に対する取組の PR

◇地域中核企業(候補)の支援としての台湾企業とのアライアンス支援



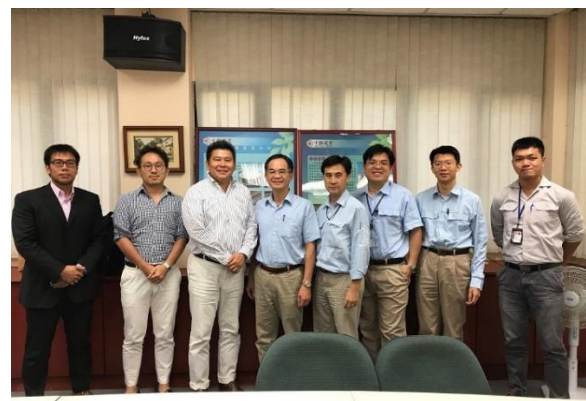
協和機電工業(株) 台湾ハンズオン



Acbel Polytech Inc.



株式会社くりんか 台湾ハンズオン



China Steel Corporation

VI. 環境エネルギービジネス創出と人脈形成の場 「エコ塾」 ＊年 10 回程度開催＊

K - R I Pでは九州経済産業局と連携して、環境・リサイクル・再生可能エネルギー分野の人的交流、企業間交流の活性化を目的とする「エコ塾」を毎月 1 回開催しております。平成19年度に第1回エコ塾をスタートし、すでに10年を超える九州地域の活発な情報交流の場となっています。

「エコ塾」は、環境エネルギー関連ビジネスに取り組む企業や、環境ビジネスを支援する団体等のプレゼンテーション（毎回 3 社程度の講演）と、講演後に催します参加自由な交流会（立食形式）の 2 部形式となっております。

また新たな取り組みとして、交流会の時間内で企業や支援機関からの各種 P R を行うことができるショート・スピーチ（1 分間）の時間を設けており、気軽に企業 P R が出来ることもあり、参加者との積極的な交流を図っていただいています。今回は、第106回～第109回までの概要を報告します。

第 106 回エコ塾 「新分野へ広がる環境・エネルギービジネス」

開催日時： 平成 29 年 5 月 24 日（水）17:00～18:30

開催場所：福岡合同庁舎本館 1 階 九経交流プラザ

参加者数： 講演会： 55 名、交流会： 36 名

【テーマ】「経験と技術を応用した『E C O 農業』が創出する持続可能な資源確保の可能性」

【発表者】 株式会社タカフジ 食品・アグリ事業部 部長 松尾 崇史 氏

（株）タカフジは、製鉄所・発電所・水処理などプラント業を得意とする会社です。

創業当初から培ってきた現場での経験や技術を、新分野である「農業」に応用し、環境に優しくエコで持続可能な「エネルギー×農業生産」の事業展開に取り組む。

今回は大分県産エネルギー「地熱：温泉熱」を有効利用した熱交換システム開発の背景も交えながら新分野での取り組み事例を紹介。

【テーマ】「灰処理・再生ビジネス・パッケージ化による事業化（R U S システム）の紹介」

【発表者】 株式会社福岡建設合材 企画・営業部長 西里 和人 氏

灰処理による無害化及び製品化をパッケージにし、全国各地での再生ビジネスの地産地消を実現するべく、必要な成分分析や溶出試験を遠隔操作でも可能にした‘FKG モニター’の導入により、各地のプラントから送信されたデータにより随時試験を行い、無害化への適性・的確な配合を指示することで常に規制基準値内を維持。これを「R U S システム」と名付けて、広域にパートナー企業を募ることで循環型社会の輪を広げる。

【テーマ】「お客様とともに 9 0 年 「答えはいつもお客様」 あらゆる分野に新展開」

【発表者】 大石産業株式会社 事業企画部 部長 大谷 洋文 氏

創業 9 0 周年を越え、藁工品から創業し、現在は段ボール、重包装袋、フィルム、パルプモールド等を取り扱う包装の総合メーカーです。包装資材メーカーとして取り組めることを一つずつ実施し、その結果、新分野への展開も加速しようと事業活動を行う。

第 107 回 エコ塾 「エネルギービジネスの新たな挑戦」

開催日時：平成 29 年 6 月 23 日（金）17:00～18:30

開催場所：カンファレンス ASC 1 階

参加者数：講演会：68 名、交流会：34 名

【テーマ】「小型風力発電とその活用について」風レンズ風車によるエネルギー自給自足は可能か

【発表者】 株式会社ウィンドレンズ 代表取締役 高田 佐太一 氏

風レンズ風車は、3 つの特長があります。

- ・コンパクト設計（羽根径は集風レンズの風車の半分以下）
- ・集風効果（集風レンズで風速を 1.3～1.5 倍に、出力は 2～3 倍に）
- ・低騒音（集風レンズの騒音低減効果、視覚的・心理的效果も加わり、様々な場所に容易に設置できる）これら特長を活かし大規模開発で多発する住民運動とは無縁な高効率次世代型風車として再エネ普及の一端を担えるようコストダウンに取り組む。

【テーマ】「太陽光発電（HOUSE-e）でゼロエネルギー農業と魅力ある新しい農業を実現」

【発表者】 ユニバーサリー電工株式会社 代表取締役 中川 博文 氏

施設園芸では、多くのエネルギー（電気・石油）を使って農産物を栽培。この課題を解決するために、農業における再生可能エネルギーの活用策として、HOUSE-e（ハウスイー）を開発・商品化しました。250W の太陽電池をビニールハウスの屋根に 20 枚設置し 5kw のシステムとして、ハウスで使用するエネルギーを賄う。HOUSE-e は、ゼロエネルギー農業と魅力ある新しい農業を実現します。

【テーマ】「島嶼地域沖縄県における、エネルギービジネスの新たな挑戦」

【発表者】株式会社スマートエナジー沖縄 代表取締役 小山 聡宏 氏

東日本大震災の震源地である宮城県仙台市から沖縄に移住して、早 6 年が経過しました。日本列島最南端の島々からなる沖縄で、環境・エネルギー関連ビジネスの中小企業はどう立ち上がり、何に向かってどうチャレンジするのか、その命を懸けた企業チャレンジの魂（マブイ）を共有します。



第 107 回エコ塾 講演会風景



講演者：高田氏・中川氏・小山氏

第 108 回 エコ塾 in 鹿児島『再エネ発電の現状と課題』

開催日時：平成 29 年 7 月 24 日(月) 15:00～17:20

開催場所：ホテル パレスイン鹿児島 孔雀の間

参加者数：講演会：72 名、交流会：48 名

【テーマ】 バイオマスを活用してエネルギーの地産地消を目指す純国産ガス化 CHP (熱電併給装置)

【発表者】 バイオマスエナジー(株)代表取締役社長 平本 光識 氏

FIT40 円時代になり、ガス化 CHP の導入事例は増えてきましたが、未だ安定した稼働の実績は僅かです。長崎に設立された弊社は、10 年間の開発期間を経て、漸く自信を持って市場に投入できる木質バイオマスガス化装置を完成させ販売を開始するに至る。

既に自社工場での稼働だけでなく、シンガポールにおいて連続数千時間の稼働を繰り返しており、日本だけでなく諸外国から高カロリーの生成ガスを活用する受注が増加。

【テーマ】 風力発電設備のメンテナンス事業について

【発表者】 (有)イー・ウインド 専務取締役 田上 秀人 氏

長崎県五島に本社をおく、風力発電設備保守メンテナンス専門の企業。平成20年に五島の風力発電設備の増加、業界の将来性を見据え、建設業から業種転換をした。

主に、風車メーカー様から、全国各地における依頼を受け、点検、エラー対応をする業務と、設備近辺に常駐(五島、鹿児島)し、運営保守管理する業務を行っており、24時間遠隔監視業務、ロープアクセスによる外部点検等風力発電設備の安定運営に必要な業務をいち早くとらえ、サービスを提供。

【テーマ】 次世代エネルギーを活用した「超スマートな」街づくりについて

【発表者】 薩摩川内市 商工観光部 次世代エネルギー対策監 久保 信治 氏

平成 25 年 3 月に策定した「次世代エネルギービジョン」に基づき、持続的な経済発展のために「次世代エネルギー」の作り方や使い方を考えながら、「次世代エネルギーを活用した街づくり」を進めている。

今回は、平成 27 年 3 月に国定公園に指定された甕島(こしきしま)を舞台として、平成 27 年 11 月より、経済性の高い電気自動車のリユース蓄電池を活用した「甕島蓄電池導入共同実証事業」について紹介。

【テーマ】 鹿児島県内での小水力発電の取り組みについて

【発表者】 九州発電(株)発電事業部 課長 川畑 雄司 氏

鹿児島県内の小水力発電に対する取り組みと現状を紹介。特に九州発電株式会社における県内の小水力発電の開発(船間発電所、重久発電所、大川発電所、一ノ谷発電所、内之浦辺塚発電所の 5 つの発電所の概要説明)と今後の予定、水力発電開発における水利用の使用許可、水力発電所の運用上の問題点を紹介。



第 108 回エコ塾イン鹿児島



交流会風景

第109回 エコ塾 in 宮崎『未来へつながるバイオマス活用の取り組み』

開催日時：平成29年8月31日(木)14:00～17:20

開催場所：HOTEL スカイトワー ターコイズ・マリン

参加者数：講演会：69名、交流会：37名

【基調講演】「改正 FIT 法と再生可能エネルギー政策の今後の展望」

【発表者】資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部 課長補佐 山下 健太 氏

【テーマ】バイオマス発電燃料としての木質チップ生産について

【発表者】中山リサイクル産業(株) 常務取締役 堀 文弘 氏

FIT 施行後、バイオマス発電燃料としての木質チップについては、林野庁が定めるガイドラインに則した運用が求められる。それは、バイオマスの区分ごとの分別管理と、証明の連鎖である。FIT 施行前のリサイクル木材の取扱いに加え、施行後は、一般木材、間伐等由来のバイオマスまで取扱い範囲を拡大している。移動式チップパー機導入によるヤード形式の運用など、事業拡大の為の取り組みを紹介。

【テーマ】木質バイオマス活用による地域エネルギー事業について

【発表者】篠田(株) 環境事業部 武谷 歩 氏

現在、国内のバイオマス発電所は何千 kW の大型のものが大半を占め、その集材範囲は国内外に拡大中です。地域資源を地域で活用するためには、地域の資源に合ったバイオマス活用方法が必要。篠田(株)は、木質バイオマス熱電併給システム等により、地域バイオマスを活用し、地域に根付いた地産地消エネルギーの実現や、それによる地域活性化を目指す。

【テーマ】資源循環で皆が楽しく活躍できる社会を ～食品廃棄物の低コスト地域循環～

【発表者】楽しい(株) 代表取締役 松尾 康志 氏

官民一体となった食品廃棄物のリサイクルループ形成に必要なノウハウとサービスを、包括的に提供しています。ループ形成に関わる全ての立場の人たちに「コスト軽減」「雇用創出」「CO2削減」「社会参加」といったメリットを提供することも目指す。食品廃棄物を堆肥化させ、農産物を生産する地域資源循環モデルで、「環境・経済・社会の統合的向上」に貢献。

【テーマ】木質ペレットのポテンシャル

【発表者】(株)フォレストエナジー門川 取締役 事業統括部長 日吉 淳 氏

当社は、豊富な木質バイオマス資源を有する宮崎県で木質ペレットを製造販売している会社。地球環境にやさしいエネルギー源として、これまで培った独自の製造技術をベースに新たなペレット開発も手掛け、木質バイオマス活用普及の一翼を担う事業展開を目指す。又、ペレットの利用拡大に於いて、親会社である清本鐵工(株)との連携を図り、これからの取り組みについて紹介。



第109回エコ塾イン宮崎



交流会風

VII. 個別プロジェクト支援事業

1. K-RIP 環境エネルギープロジェクト研究会の開催

K-RIP では、市場拡大に向けた新しいビジネスモデルの提案・実証や再生可能エネルギー製品・システム開発を目指す「環境エネルギープロジェクト研究会」を新たに企画しました。

これは、環境エネルギー関連産業において活躍を目指し、K-RIP で取り上げるべき研究課題を持ち主体的に活動を実施する幹事企業と、その研究テーマを公募により、平成 29 年 8 月の K-RIP 環境エネルギープロジェクト「幹事企業及びテーマ審査会」において、今年度は下記の 3 テーマを採択し、個別プロジェクトの研究会を実施しています。

(1) 第 1 回アグリトピア研究会の開催報告

【開催日時】平成 29 年 9 月 20 日（水）13:30～16:00

【開催会場】（公財）九州経済調査協会 会議室（電気ビル共創館 5F）

【参加者数】12 名

【幹事会社】グリーンリバーホールディングス 株式会社

【テーマ】再生可能エネルギーや IoT 機器を利用した水耕農業システムのモデル構築

【研究会次第】

- 13:30 研究会事務局、グリーンリバーホールディングス(株) 開会挨拶
- 13:40 昨年度研究会の経緯と成果に関する説明・意見交換
- 14:00 善導寺トライアルファーム、八幡平の各プロジェクトの進捗報告
- 14:30 本年度の研究会の検討事項とゴールについて
 - ・ゴール（成果・成功）の定義
 - ・IoT 機器搭載モデル、栽培する野菜について
 - ・久留米・八幡平以外での実証場所の検討
 - ・上記に関する意見交換
- 15:45 次回の検討課題について
- 16:00 研究会終了



平成 29 年度 第 1 回アグリトピア研究会風景

(2) 第1回 張架式小型風力発電研究会

【開催日時】平成29年9月26日（火）13:00～15:00

【開催会場】（一財）九州産業技術センター 会議室3F

【参加者数】15名

【幹事会社】テス・エンジニアリング株式会社

【テーマ】ワイヤーに小型風車8基を連想した8.8kW張架式小型風力発電機の実証試験と、商品化に向けた課題抽出、改良を実施する。（場所：福岡市西区今津）

【研究会次第】

13:00 研究会事務局、テス・エンジニアリング(株) 開会挨拶

13:10 張架式小型風力発電設備及び同事業の説明（テス・エンジニアリング(株)）

13:40 市場性の検討、意見交換（説明：九州経剤調査協会）

15:00 研究会終了

【意見交換】

- ・開発機器の内容、発電量、導入コスト
- ・独立電源用途での有望な市場の検討
- ・FIT 対応機としての市場性の検討
- ・発電機、導入コストを踏まえた販売価格（概算）の検討



(3) 第1回太陽光発電のO&M、リユース、リサイクル研究会

【開催日時】平成29年9月27日（水）13:30～16:00

【開催会場】（一財）九州産業技術センター 会議室3F

【参加者数】16名

【幹事会社】（一社）太陽光発電アフターメンテナンス協会

【テーマ】太陽光パネルのO&M、リユース、リサイクルシステムの構築



平成 29 年度（下期）K-RIP 事業計画

平成 29 年度下期は、主に下記のような支援事業（イベント）を開催します。

日時	事業名	場所	連携団体
平成 29 年 10 月 11 日 ～13 日	エコテクノ 2017 展示会出展 ～地球環境ソリューション展～ ～エネルギー先端技術展～	北九州市	西日本総合展示場 (北九州市小倉)
平成 29 年 10 月 12 日	環境ビジネスアライアンスマッチング セミナー in 九州 (エコテクノ内で開催)		環境ビジネス・アライアンスマッ チング運営協議会
平成 29 年 10 月 11 日 ～13 日	次世代農業 EXPO (農業ワールド 2017) 展示会出展 (幕張メッセ)	千葉県	
平成 29 年 10 月 18 日 ～20 日	びわ湖環境ビジネスメッセ 2017 展示会出展	滋賀県	
平成 29 年 10 月 30 日 ～11 月 4 日	【ASEAN との環境産業交流事業】 (台湾環境 PJ ミッション団派遣)	海外	
平成 29 年 11 月 9 日 ～10 日	第 111 回エコ塾イン大分、「視察キャラバ ン」	大分市	
平成 29 年 11 月 16 日 ～17 日	ファインバブルセミナー&ファインバブ ル地方創成協議会 (鹿児島県)	鹿児島市	(一社) ファインバブ ル産業会
平成 29 年 11 月下旬 (予定)	【ASEAN との環境産業交流事業】 (台湾環境ミッション団来九)	福岡市	
平成 29 年 12 月 4 日 ～5 日	第 111 回エコ塾イン熊本、「視察キャラバ ン」	熊本市	
平成 29 年 12 月 12 日 ～13 日	環境ビジネスアライアンスマッチング セミナー in 沖縄	那覇市	環境ビジネス・アライアンスマッ チング運営協議会
平成 29 年 12 月上旬 (予定)	【ASEAN との環境産業交流事業】 ベトナム環境 PJ ミッション団派遣	海外	
平成 30 年 1 月 25 日 ～26 日	エコ塾・in・長崎 (佐世保) & 「視察キャラ バン」	長崎市	公財) 長崎県産業振興 財団
平成 30 年 2 月 8 日	エコ塾・in・佐賀	佐賀市	九州経済連合会
平成 30 年 2 月 14 日 ～16 日	インターアクア 2018 展示会出展 (東京ビッグサイト)	東京都	
平成 30 年 2 月下旬 (予定)	【ASEAN との環境産業交流事業】 (マレーシアミッション団派遣、タイ)	海外	九州経済国際化推進 機構
平成 30 年 3 月上旬 (予定)	エコ塾イン福岡 (ハイアット) K-RIP プロジェクト報告会 (九産技)	福岡市	

K-RIP 支援メニューのご紹介

1) 最新トピックスの入手・情報発信

ホームページ・メルマガ、冊子等でイベント案内、国・自治体の施策や各種トピックスをお届けします。また K-RIP 会員限定の情報提供も行います。

支援適用区分： 会員 ・ 非会員

2) 製品・技術 PR、ネットワーク形成支援「エコ塾」

新ビジネスの創出、ビジネスマッチング、人脈形成を目的に、月一回程度開催する「エコ塾」には、関心のある方は会員・非会員を問わず参加可能です。

支援適用区分： 会員 ・ 非会員

3) 広域・多機関連携フォーラム・交流会

九州内の自治体や支援機関と広域的に連携し、企業間交流からビジネスマッチングに繋げるための、多様なイベント(セミナー・交流会等)を開催します。

支援適用区分： 会員

4) 海外展開支援、リスク低減化

経済産業省等政府機関と連携し、主にマレーシア・ベトナム(ASEAN)等との交流の枠組みを構築し、海外展開・マッチング支援やプロジェクト組成を行います。

支援適用区分： 会員

5) 事業化支援「K-RIP プロジェクト」

製品開発や既存製品改良のための研究費に充てられる資金助成や専門家の指導、各種補助金獲得のアシストで事業化に向けた幅広い支援を行います。

支援適用区分： 会員

6) 販路拡大支援

製品・サービスの販路拡大のための展示会出展支援やプレゼン支援など、販路拡大を総合的にお手伝いします。

支援適用区分： 会員

7) ビジネスマッチング支援

各マネージャーが会員のビジネスニーズに応じたマッチングを行い、必要に応じて各種補助金や他の支援メニューと組み合わせて総合的に支援します。

支援適用区分： 会員

8) 専門家派遣

技術、経営、販促、国際等各分野の K-RIP に登録済みの専門家の中から、お申込みを戴いた K-RIP 会員のニーズ等を審査のうえ、年 2 回まで無料で域内の会員企業に派遣します。

支援適用区分： 会員

九州環境エネルギー産業推進機構(K-RIP)事務局

TEL: 092-474-0042、FAX: 092-472-6609